

FULLMETAL PANIC!



FOR ADULT

さっきから
やっている！

だが、力場
など出んぞ!!

じゃあ想像して！
あなたが負けたら、あたしは
捕まって、裸にひん剥かれて、
散々弄り回されて
殺されちゃうのよ！

その光景を
思い浮かべて！

いいから！
さあ、想像する!!

なんだと？

裸に
ひん剥かれて
……？

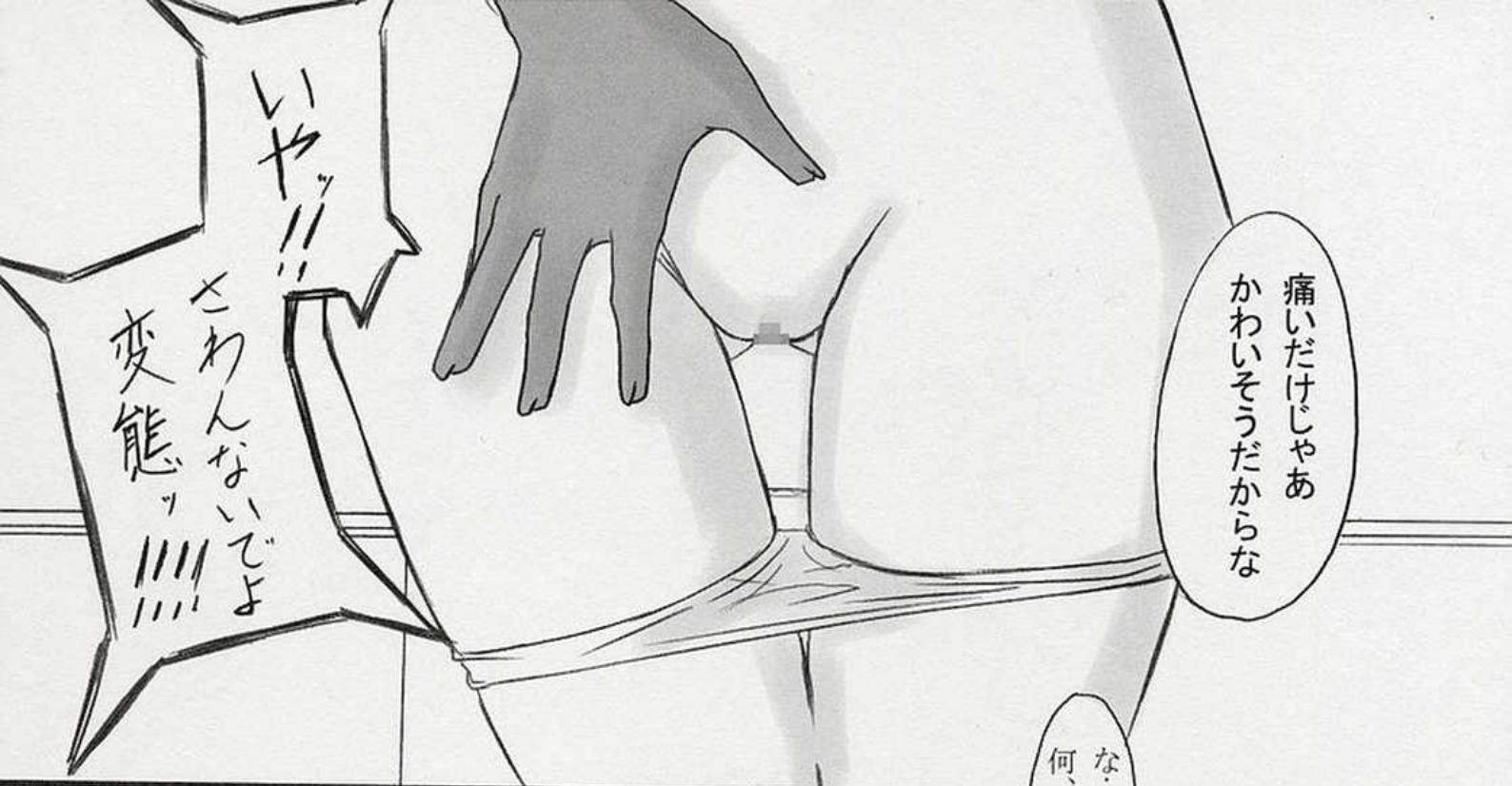


組織に捕まってしまった
かなめは、まず拘束され、
自由を奪われた。

やめ、

拘束され、身動きのとれない千鳥かなめの服を、男達は乱暴に剥ぎ取り、美しいその肢体を無遠慮に撫で回す。男達の視線に晒され、かなめは顔を赤らめた。

いい身体
してんじやねーか
こいつは楽しめそうだな



かなめに投与されたのは、
鎮痛剤をかねた媚薬の様
なものだった。
投与されすぐに、かな
めの身体に猛烈な熱が襲
いかかった。





かなめの懇願にもかかわらず、男は男根を彼女の濡れそぼった秘壺に突き入れる。かなめの処女はあっけなく奪われた。しかし、幸か不幸か、薬の影響で破瓜の激痛を免れた彼女は、一気に絶頂へと導かれた……。

それだけは！

い、嫌……

さて、そろそろ
頂くとするか

ニチ ャッ



お嬢ちゃん、初めての
SEXで二一本差しつ
てわけだ！

やだ！
やめて！
そんなとー、
許してえッ！

こっちの穴も可愛がって
やんないとなあ？

ヴァギナとアナルを同時に貫かれ、
かなめは一気に絶頂に押し上げら
れる。一度、又一度、突き上げられ
るたびに、ついさっきまで処女だっ
た身体は痙攣を繰り返した。

ああ

イク

もう
おおお
おおお
おおお
おおお

もう
いっ

あ
あ
あ

イシイ

散々もてあそばれたかなめの身体は、男達の精液でドロドロになっていた。男達は、ホースを取り出すと、まるで物を洗うかのように、乱暴にかなめの身体を洗浄した。

水責め

しつかり中まで
洗浄しないとな

そんな……

やめ……

や……

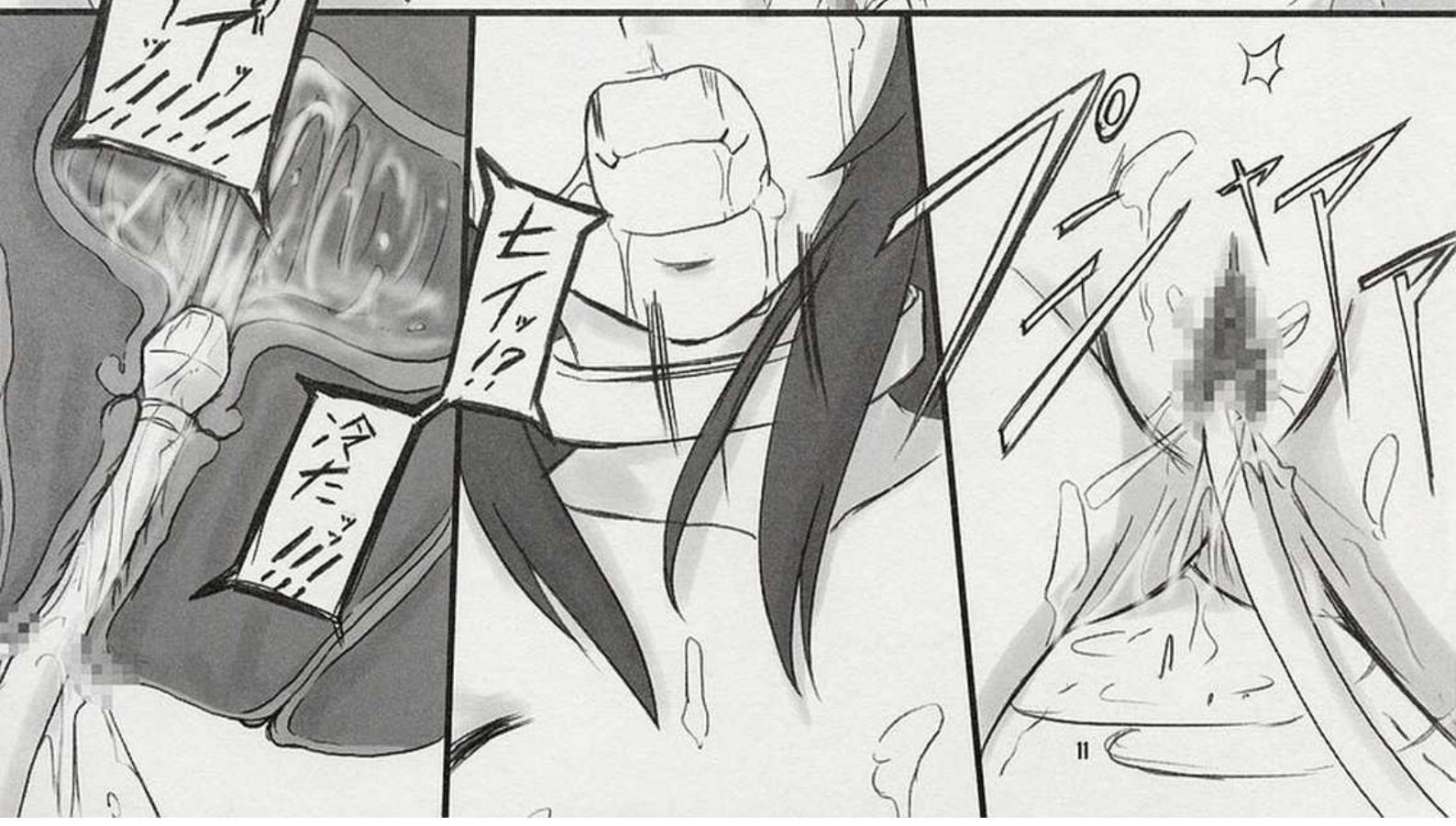
あ～あ、こんなに
汚しちまつて、
汚ねエなあ……

あ"う
ア"あ
ッ

ビクニ…

クチ

ビクニ…





奴隸の証をつけてやらなきや
な。どうせなら、『アリ』……。

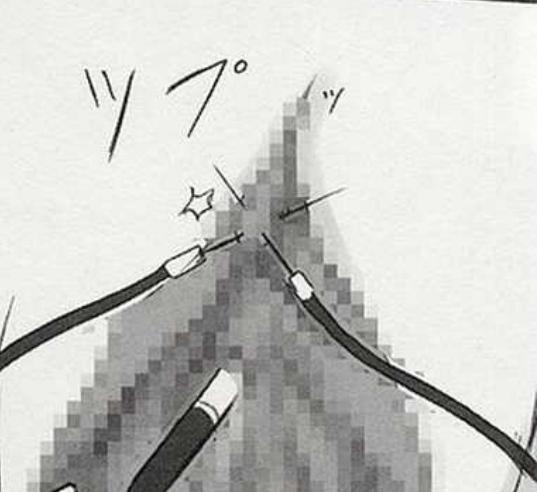
火責め

陵辱によって真っ赤に腫れあがったクリトリスに、男は容赦なく焼き鎧を押し付ける。それは、実験体に付けられるナンバーでもあった。



次の日も、彼らの「実験」は続けられていた。組織の女医の指示で、男達は容赦なく、火傷で腫れあがったかなめのクリトリスに、媚薬を打ち込んだ。







電気ショックによつて、何度も
跳ね上がるかなめの肢体。
その度に、媚薬に犯された彼女
の身体は絶頂へと押しやられた。



二週間後、かなめはただのモルモットとして、そこに存在していた。人格を破壊され、ただ薬の影響で愛液を垂れ流すだけのモノに…

かほー!!

もう…

はー…

キュウ…

許して…

もお…

許し…

だ…り…

あいつはそうしようとしてるのよ!!
そんなことが許せるの?!

アンタは!!

許せん!!

なんで鼻血
吹いてるんです?

03.00

は。

クルツはこんなにアブナイ妄想するヤツ
じゃなかった気もします。



とりあえず、面白いっす。フルメタ。むしろ、小説のほう。なんか、かなりアブノーマルな本になってしましましたが……。

「ふもっふ」の出来はすばらしかったですね。さすが京アニ。テッサたん派が多いようなフルメタファンですが（日本語変）、私はだんぜんかなめ派デス。ちとオーソドックスすぎる正統派ヒロインだけど、まあ、とりあえず、素直じゃないのがいいよねw

あと、お蓮さんも好き。というわけで、続けてはお蓮さんイラストっす。

林水先輩と絡めようと一瞬は思ったんだけど、結局ヤクザもん。

どうでもいいけど、お蓮さんに田中さんヴォイスは似合いすぎ……。

仁義無きオーケーション

ホラホラ し、カリ タニヤ
えないと。
入、ちまうぜ：？

龍神会に捕らえられた美樹原蓮は、脅迫の材料にされたいた。陣代高校の制服姿。そのスカートだけが脱がされ、白くすらつとした足があらわになっている。

「あの……いつたい、何を……？」

足を擦りあわせ、不安そうに尋ねる蓮に、龍神会の組長は口元を歪めた。

「なあに、ぬるま湯に浸かりきった美樹原組に、カツいれてやろうと思いましてね……」

そういうと、組長はビデオをスタンダードにセットし、蓮の両手を天井に吊り上げて拘束した。そして、ビデオの前で彼女の両足を抱き抱える。

「や、嫌あ！ こ、こんなのっ……恥ずかしいです！」

力の限り暴れる蓮。しかし、屈強な男の力に、到底かなうわけなど無い。

「ほおら、お嬢さんの恥ずかしい場所、バツチリ撮れてるぜえ？」
ビデオを操作する別の組員が、ビデオのモニターを蓮に向けて見せる。

「やめ……こんなところ、撮らないでくださいっ」

羞恥に顔を真っ赤に染めてうつむく蓮。しかし、男達はそんな蓮の反応を楽しむかのように、彼女に下卑た視線を向ける。

「何言つてんだよ。これからがいいところなんじやないか」

そういうと、組長は蓮の下着をむしりとった。ピンク色のクレバスがあらわになり、男たちが歎声を上げる。

「こりやあ、きれいなマ○コだ。いじつたこともねエだろ？」

「い、嫌ア！ やめてください！ こんなっ：嫌、嫌あ！」

激しく暴れる蓮。自分でもちろん男の目の前に晒される。死んでしまったくらいの耻辱。知らぬ男の目の前に晒される。死んでしまったくらいの耻辱。「可愛い悲鳴を聞くのは心地いいが、あんまり騒がれると面倒だな」

男達はそういうと、猿轡をして彼女の口を塞いでしまった。さらに、両足も縛り上げ、宙吊りの状態にする。抱え上げた彼女のむき出しの秘部に、自らのペニスをあてがうと、

「さて、お嬢さん。ここで問題だ。ここで、お嬢さんを支えてる

この手を離すと、どうなると思う？」

「さ、その細い腕でどこまでがんばれるか知らんが、がんばんな

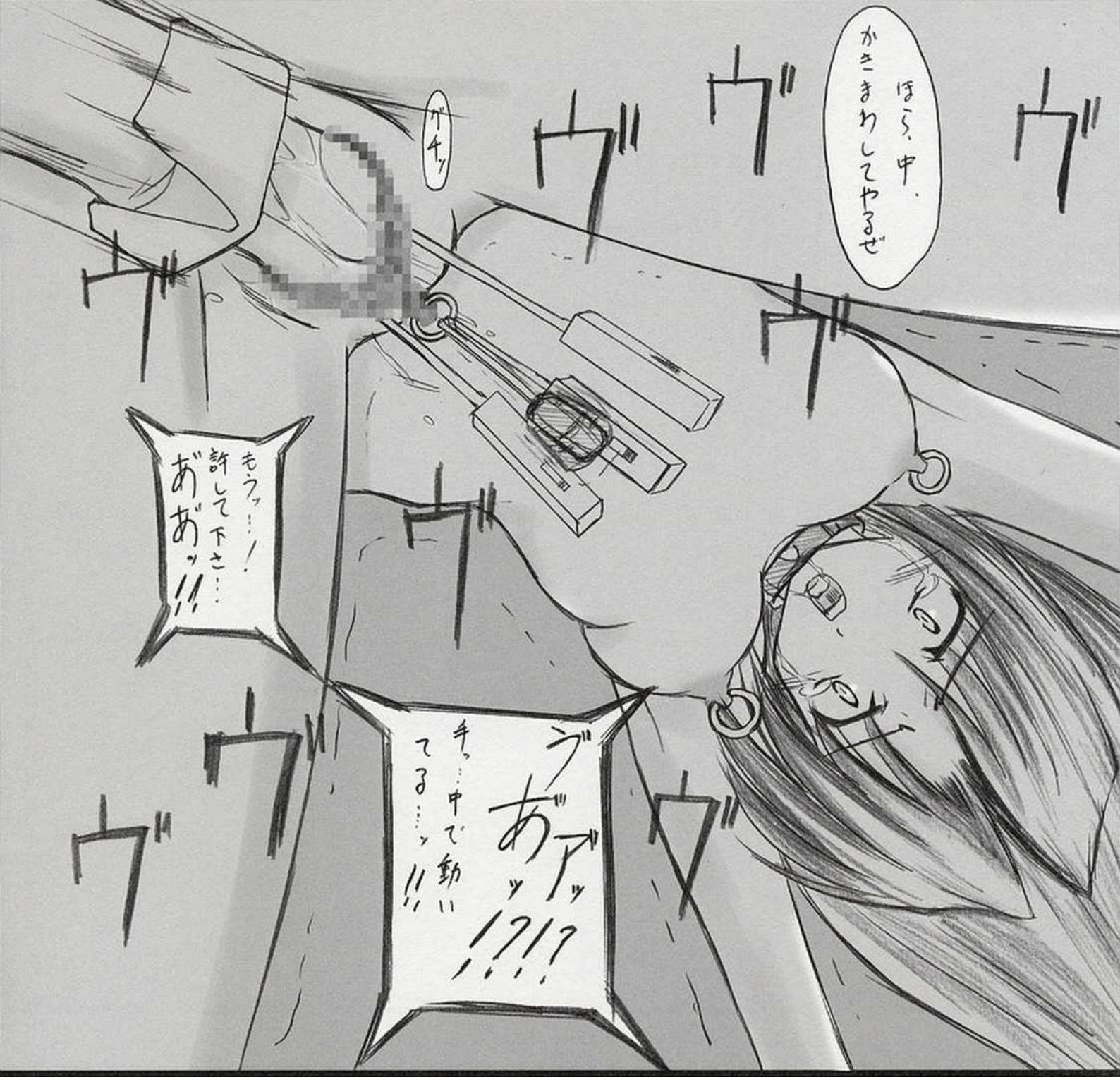
らしい彼女でも、どうなるか想像くらいはつく。

「ま、その細い腕でどこまでがんばれるか知らんが、がんばんな

そういうと、男は蓮をささえていた手を離す。

「んんん———ン！」
蓮の秘部に先端がめり込み、彼女は悲鳴を上げた。





処女喪失の瞬間をビデオに撮られ、何人の組員に散々陵辱されたあとも、蓮が開放されることはなかつた。

誘拐されてから一週間後、蓮は未だに龍神会のアジトの地下室に監禁されていた。そこで彼女に施されていたのは、性奴隸としての調教だった。

「もう…もう許してください…私…」

毎日のように蓮は懇願したが、その願いが聞き入られることはなかつた。それどころか、まるでおもちゃのような扱いを受け続けていたのだ。

「さすがに、もう大分抜がつてきたな」

蓮のヴァギナに指を刺し入れて、組員がつぶやく。

「クリトリスもこんなに大きく腫らしちまつて、まあ」

「ひいいいッ…それ、弄らないでくださいッ！」

クリトリスを捻られた蓮が悲鳴を上げる。しかし、男は陰核から指を離さなかつた。

「なんだ。ここを弄られると、どうなるんだ？」

「そ、それは…つ…」

蓮が口ごもる。

「教えただろう？　どうなつちまうんだ？　言つてみろよ」

「ひ、きいいいッ！　い、イきます！　蓮、イっちゃいます！」

「だから、弄つてほしいんだろ？　ほら」

「ちが…あ、あああ・あ・ああああッ！？」

陰核を激しく抓られ、蓮は前身を痙攣させて達した。

その後も男達の調教は続き、誘拐から二週間が過ぎるころには、蓮の感度も異常に上がつていた。

クリトリスには、奴隸の証としてピアスがはめられ、腫れあがつたソレと膣内は、二十四時間常にバイブで刺激され続けていた。

「そろそろ、コイツもいけんじやねえか？」

組長はそういうと、蓮のクレバースに「ぶしをあてがつた。

「あ…ゆ…ゆるしてください…私…」

弱弱しく懇願する蓮の秘部に、男の拳が飲み込まれていく。たまらず、蓮は悲鳴をあげた。

誘拐から一ヵ月後、蓮はとあるオークションの会場にいた。
一ヶ月調教され続けてきた彼女は、今回の「目玉商品」となっていた。
股間にパイプを咥え込み、愛液を垂れ流し続ける若い少女。その美貌もあいまって、彼女の「値段」はたちまち跳ね上がりついた。



角山組の幹部によつて落札された彼女。
おそらく、さらなる調教を受けること
になるのだろう。
蓮が陣代高校に姿を現す日は、二度と
訪れなかつた。

あとがきと奥付

この本を買ってくださった皆様、ありがとうございます。巻末にて大変失礼致しますが、サークル「ちらりすむ」の飛鷹トヲルと申します。

やっとこさ終了です。裏表紙には2003年発行、みたいなこと書いてありますが、実際2004年が初版ですw 表紙入稿してから大分たっちゃつたなあ……。

フルメタ本、やっと出せました……。お蓮さんの話とか、大分中途半端になっちゃってて……申し訳ないです。ほんとはもっと書きをかっただんですけどね。ページ数等の都合で、なんともイイところをすっ飛ばした展開に。

フルメタネタは、またいつかやるかもしれません。アニメメタ本とかで。今回はかなめファンとかに刺されそうな内容なんで、次は軽めに……いや、やっぱあんま変わらないかもw

ええと、今回は私の個人誌だったわけですが、この先は、とりあえず、サークル「ちらりすむ」の本としては、悠久本とホイホイさん本を予定しています。個人では、紅い蝶だとか、もえたんだとかが気になってたり。

とりあえず、今回は今までの反動でかなり鬼畜なものになってしまったので、次は少々落ち着くかも。落ち着かないかも……。

それでは、皆様、また、次の本でお会いできれば幸いです。

飛鷹 トヲル

サークル：ちらりすむ

飛鷹 トヲル

印 刷：PICO様

<http://www.kt.rim.or.jp/~toworu>

t_hidaka@toworu.com

2004/3/14

禁無断転載

18歳未満の閲覧を禁じます

FOR ADULT

FULLMETAL PANIC!
FUN BOOK

A RA KU RE !
アラクレ

2003.11.9

ちらりづむ

TEAM
LIGHTNING
RHYTHM

